

宗像市の基金運用について

本市の基金運用は資金運用に係る基準（内規）を定め、これに基づいて資金管理・運用を行っています。債券運用にあたっては、安全性を確保しつつ収益性の向上を図ることとしており、以下の方針で運用を行っています。

【安全性の確保】

信用性リスクへの対応として、購入する債券は国債、地方債、政府保証債などの公共債としています。

【債券価格変動へのリスク対応】

運用期間中の価格変動への対応として、償還期日まで保有することを前提とした債券購入を原則としています。ただし、償還日前に投資元本を上回る場合は売却することもできることとしています。

本市では信用性の高い債券を満期保有前提として購入しているため、運用途中の評価損については関係ないと考えています。

【例】

5 年前に 1,000 円で国債を購入（額面 1,000 円）したものが、現在、経済の状況により時価が 3 割下落。（現状では含み損が 300 円。）

対 応	収 入 額	損益等
① 現状で売却した場合	売却による収入 700 円	300 円の赤字
② 満期まで保有した場合	償還（満期）による収入 1,000 円	なし

※利子収入については、①は売却までの利子収入を、②については償還までの利子収入を得ることができます。

※上記のように運用途中の社会情勢により時価の変動が考えられるため、運用途中で時価が下がっても影響が無いように、満期保有を前提として債券の購入を行っています。

基金保有状況（令和6年12月末現在）

基金名	基金合計（円）
財政調整基金	3,425,975,715
減債基金（一般）	3,177,389,489
公共施設等維持更新基金	6,512,835,262
安全安心まちづくり基金	3,000,000,000
国保高額貸付基金	2,000,000
国民健康保険基金	1,554,605,200
介護給付費準備基金	1,442,685,845
可動井堰維持管理基金	417,774,423
元気なまちづくり基金	3,600,000,000
離島振興基金	500,000,000
企業立地促進基金	49,830,616
ふるさと基金	1,733,887,772
森林環境譲与税基金	15,938,987
合 計	25,432,923,309

基金保有種別内訳（令和6年12月末現在）

区分	金額（円）	保有率
決済性預金（現金）	10,229,038,309	40.2%
定期預金	0	0.0%
債券	15,203,885,000	59.8%
合 計	25,432,923,309	100.0%

債権保有状況（令和6年12月末現在）

No	銘柄	残年数	利率	購入日	償還日	額面（円）	債権簿価（円）	利子収入/年（円）	評価損益（円）
1	利付国債(30年) 第64回	26	0.4	R1.10.16	R31.9.20	500,000,000	502,685,000	2,000,000	-165,895,000
2	利付国債(30年) 第64回	26	0.4	R1.10.16	R31.9.20	500,000,000	502,010,000	2,000,000	-165,220,000
3	利付国債(30年) 第65回	26	0.4	R2.3.23	R31.12.20	500,000,000	500,665,000	2,000,000	-165,955,000
4	利付国債(30年) 第65回	26	0.4	R2.3.23	R31.12.20	500,000,000	500,665,000	2,000,000	-165,955,000
5	利付国債(30年) 第65回	26	0.4	R2.3.23	R31.12.20	500,000,000	500,000,000	2,000,000	-165,290,000
6	利付国債(30年) 第65回	26	0.4	R2.3.24	R31.12.20	500,000,000	499,335,000	2,000,000	-164,625,000
7	利付国債(30年) 第65回	26	0.4	R2.3.24	R31.12.20	500,000,000	498,670,000	2,000,000	-163,960,000
8	利付国債(30年) 第65回	26	0.4	R2.3.24	R31.12.20	500,000,000	498,670,000	2,000,000	-163,960,000
9	利付国債(30年) 第65回	26	0.4	R2.3.24	R31.12.20	500,000,000	498,010,000	2,000,000	-163,300,000
10	利付国債(30年) 第62回	26	0.5	R2.6.8	R31.3.20	500,000,000	498,120,000	2,500,000	-148,220,000
11	利付国債(30年) 第62回	26	0.5	R2.6.8	R31.3.20	500,000,000	498,120,000	2,500,000	-148,220,000
12	利付国債(30年) 第62回	26	0.5	R2.6.8	R31.3.20	500,000,000	497,495,000	2,500,000	-147,595,000
13	利付国債(30年) 第62回	26	0.5	R2.6.9	R31.3.20	500,000,000	496,870,000	2,500,000	-146,970,000
14	利付国債(30年) 第67回	27	0.6	R2.8.5	R32.6.20	500,000,000	506,410,000	3,000,000	-156,755,000
15	利付国債(30年) 第67回	27	0.6	R2.8.13	R32.6.20	500,000,000	505,115,000	3,000,000	-155,460,000
16	利付国債(30年) 第67回	27	0.6	R2.8.13	R32.6.20	500,000,000	505,115,000	3,000,000	-155,460,000
17	利付国債(30年) 第67回	27	0.6	R2.8.13	R32.6.20	500,000,000	505,115,000	3,000,000	-155,460,000
18	利付国債(30年) 第67回	27	0.6	R2.8.14	R32.6.20	500,000,000	501,905,000	3,000,000	-152,250,000
19	都市再生債(40年)第168回	37	0.85	R2.12.18	R42.3.19	200,000,000	200,000,000	1,700,000	-82,824,000
20	利付国債(20年) 第177回	18	0.4	R3.9.10	R23.6.20	1,000,000,000	996,340,000	4,000,000	-186,010,000
21	利付国債(30年) 第68回	18	0.6	R3.9.10	R32.9.20	500,000,000	495,710,000	3,000,000	-148,300,000
22	利付国債(30年) 第71回	19	0.7	R3.9.28	R33.6.20	500,000,000	504,970,000	3,500,000	-153,680,000
23	利付国債(20年) 第177回	18	0.4	R3.9.28	R23.6.20	500,000,000	496,820,000	2,000,000	-91,655,000
24	利付国債(30年) 第71回	28	0.7	R3.9.28	R33.6.20	500,000,000	504,970,000	3,500,000	-153,680,000
25	利付国債(30年) 第71回	28	0.7	R3.9.28	R33.6.20	500,000,000	504,340,000	3,500,000	-153,050,000
26	利付国債(20年) 第177回	18	0.4	R3.9.28	R23.6.20	500,000,000	496,820,000	2,000,000	-91,655,000
27	利付国債(30年) 第68回	27	0.6	R3.9.29	R32.9.20	500,000,000	493,300,000	3,000,000	-145,890,000
28	利付国債(30年) 第72回	28	0.7	R4.1.6	R33.9.20	500,000,000	501,230,000	3,500,000	-151,600,000
29	利付国債(30年) 第72回	28	0.7	R4.1.11	R33.9.20	500,000,000	500,000,000	3,500,000	-150,370,000
30	利付国債(20年) 第174回	17	0.4	R4.1.11	R22.9.20	500,000,000	494,410,000	2,000,000	-82,190,000
合 計						15,200,000,000	15,203,885,000	78,200,000	-4,441,454,000

過去の運用益

年度	運用益（円）
17年度	48,304,162
18年度	64,079,625
19年度	122,075,733
20年度	130,182,757
21年度	139,993,385
22年度	143,825,235
23年度	446,257,713
24年度	352,387,934
25年度	488,994,618
26年度	547,650,634
27年度	603,944,072
28年度	628,473,370
29年度	424,500,629
30年度	396,454,536
1年度	599,700,053
2年度	226,089,256
3年度	138,160,813
4年度	78,705,200
5年度	78,200,000
合 計	5,657,979,725

福岡県宗像市も長期国債購入で40億円分の含み損…社債なし、売却で損失を確定させる「損切り」もせず

令和7年2月26日連絡会 会計課 ③

2/19(水) 11:07 配信 25



読売新聞 オンライン



福岡県

福岡県福津市が多額の損失を出した債券運用を巡り、隣接する宗像市の国債にも約40億円分の含み損が生じていることがわかった。金利の上昇局面で長期債を購入した複数の自治体で含み損の存在が明らかになった形となり、専門家は「自治体は情報公開を徹底し、住民への説明責任を果たす必要がある」としている。

宗像市によると、2019～22年、基金計約250億円の中から、30年満期の国債125億円、20年満期を25億円、40年満期2億円分の総額計152億円を購入。利率は年0.4～0.8%で、低金利下で有利に運用する狙いがあった。

だが、マイナス金利政策の解除などに伴い、福津市と同様、昨年9月時点で市が保有する国債の時価は約3割下がった。日銀は今後も追加の利上げを行っていくとみられ、市は2041～60年の満期まで持ち続けた上で、利息収入を一般会計に繰り入れる方針だ。

かつては10～20年満期の債券が中心で、短期売買を含めた運用益は05～23年度で計約56億円に上ったという。金融緩和の長期化を見据え、長期債の運用に切り替えたことが含み損につながったと市はみている。

一方、福津市のように社債は購入しておらず、国債の売却で損失を確定させる「損切り」もしていない。基金に約100億円の現金も確保しているとして、宗像市は「含み損は生じているが、リスク管理を行った上で運用している。財政面での問題はないと考えている」と説明している。

日本大の鷲見英司教授（地方財政）は「現行法は債券の種類や運用期間などの公表を義務づけておらず、議会や住民による監視の目が届きにくい」と指摘。「特にリスクを伴う債券運用では、ストップをかけられるチェック機能の構築が不可欠だ」と話す。

福岡県宗像市も基金運用で45億円の「含み損」 市長は「影響ない」

2025/02/20 10:30

朝日新聞

日銀のマイナス金利政策転換で国債の時価が下がり、福岡県宗像市が基金で購入した国債に約45億円の「含み損」（先月末時点）が生じていることがわかった。



福岡県

市によると、2019～21年度、国債の20～40年債を計約157億円かけて購入した。満期は2040～60年。利率は0.4～0.8%で、年約7800万円の利子を受け取っている。満期まで持てば元本が保証される。

福岡県

(朝日新聞(地域))

伊豆美沙子市長は19日の会見で、「満期保有を前提に運用しており、途中の時価の減少の影響はないと考えている」と説明。基金には約100億円の現金もあり、「財政運営に必要な資金を確保している。損切りの予定はない」としている。

一方、市は基金運用に明確な公表のルールがなかったとし、今後は公表方法などを検討する。

基金での債券運用をめぐるのは、福津市でも23億円の含み損が生じ、一部は売却して約2500万円の損失を確定させている。（上田真美）